



夢ある未来を、共に創る。

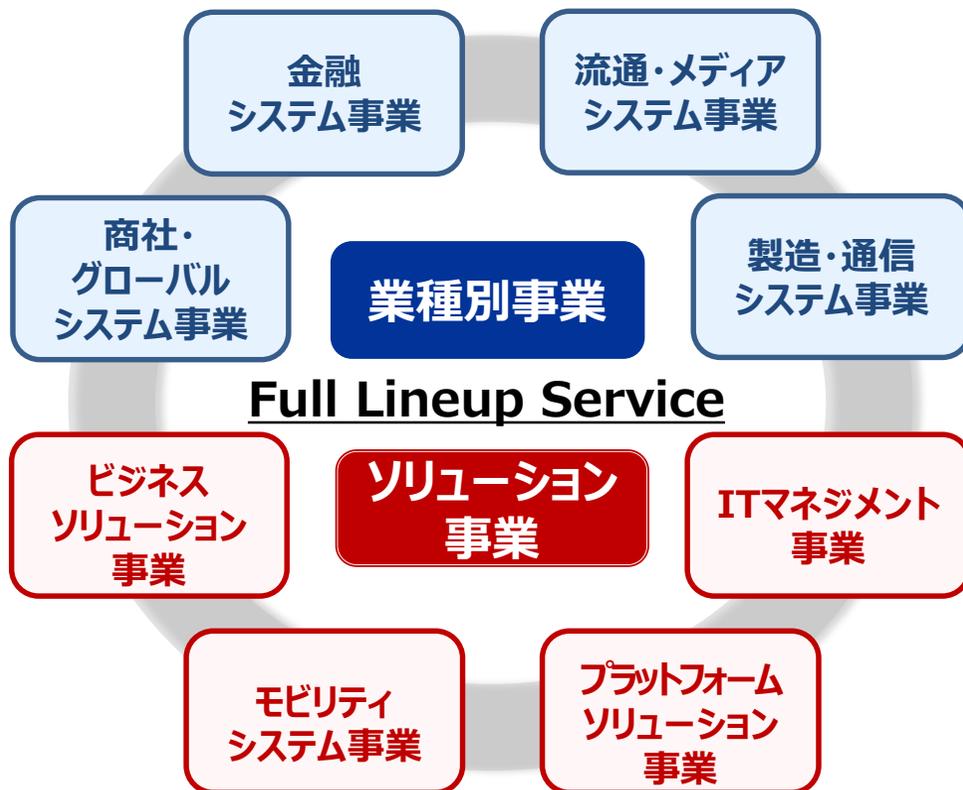
# SCSKの 「どこでもWORK」 の取り組みについて

2019年6月20日

SCSK株式会社

# 1. 会社概要

ITに関するすべてのサービスで、  
ビジネスの新価値創造とグローバル展開をサポートします。



◆ SCSK株式会社(単体)では、社員数 約7,300人  
そのうち、  
**約5,800人がIT人材**  
**(IT技術者、IT営業)**

会社名	SCSK株式会社
設立年月日	1969 (昭和44) 年10月25日
代表者	代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者 谷原 徹
資本金	21,152百万円
売上高	3,586億円 (連結ベース 2019年3月期)
従業員数	12,365名 (連結ベース 2019年3月末)

※ 2011年10月、住商情報システム (SCS) とCSKが経営統合し、「SCSK」が誕生しました。

## 2. 「働きやすい、やりがいのある会社」を目指して

経営理念の実現に向けてトップダウンで推進してきた働き方改革の第3の施策として「どこでもWORK」に着手

経営理念  
3つの約束

夢ある未来を、共に創る  
～人を大切にします～

### <SCSKの働き方改革の歩み>

2013年

効率的な働き方(時間)

スマートワーク・  
チャレンジ20

残業時間の削減と、  
有給休暇100%取得を推進

- ◇ 残業時間  
26時間→18時間に削減(▲31%)
- ◇ 有給休暇取得日数  
15.3日→18.7日に上昇(22%)

※2012年度と2016年度の実績比較

2015年

健康増進

健康わくわく  
マイレージ

日常的な健康行動と健康診断  
結果を評価し、健康維持・増進  
を支援

- ◇ ウォーキング実施率  
34%→74%に上昇
- ◇ 喫煙率  
36%→19%に減少

※2014年度と2016年度の実績比較

2016年

柔軟な働き方(場所)

どこでもWORK

いつでも、どこでも働ける  
新しい働き方へチャレンジ

新たなワークスタイルの実現へ向けて  
三位一体の取り組みを推進中

- ◇ リモートワーク
- ◇ ペーパーダイエツト
- ◇ フレキシブルオフィス

取り  
組み  
と  
実績

ワーク・ライフ・バランスの向上

健康増進

ダイバーシティの推進

自己成長機会の創出

## 環境の変化と当社の目指す働き方

### 【背景】 社会や個人、企業を取り巻く環境の変化

- ・ 社会の観点 ⇒ 少子高齢化による労働力人口の減少、要介護者の増加
- ・ 個人の観点 ⇒ ワーク・ライフ・バランス確保の重要性が更にアップ
- ・ 企業の観点 ⇒ 人材吸引力/雇用能力、BCP対応力、生産性の向上が不可避

**「いつでも、どこでも働ける新しい働き方」**を率先して実践するIT企業へ

### 【目的】 社員1人ひとりの意識改革を経て、新たなワークスタイル（高度な働き方）を実現する

- ・ 上司や部下、同僚が常に目の前にいることを前提としない組織体制や業務運営にシフトする
- ・ 決められた時間内で最大限の成果を生み出す社内風土を更に醸成する
- ・ 新しい働き方を社員自らが考え、実際に働き方を変えていく自律的な集団に変わっていく

#### 副次的な 効果

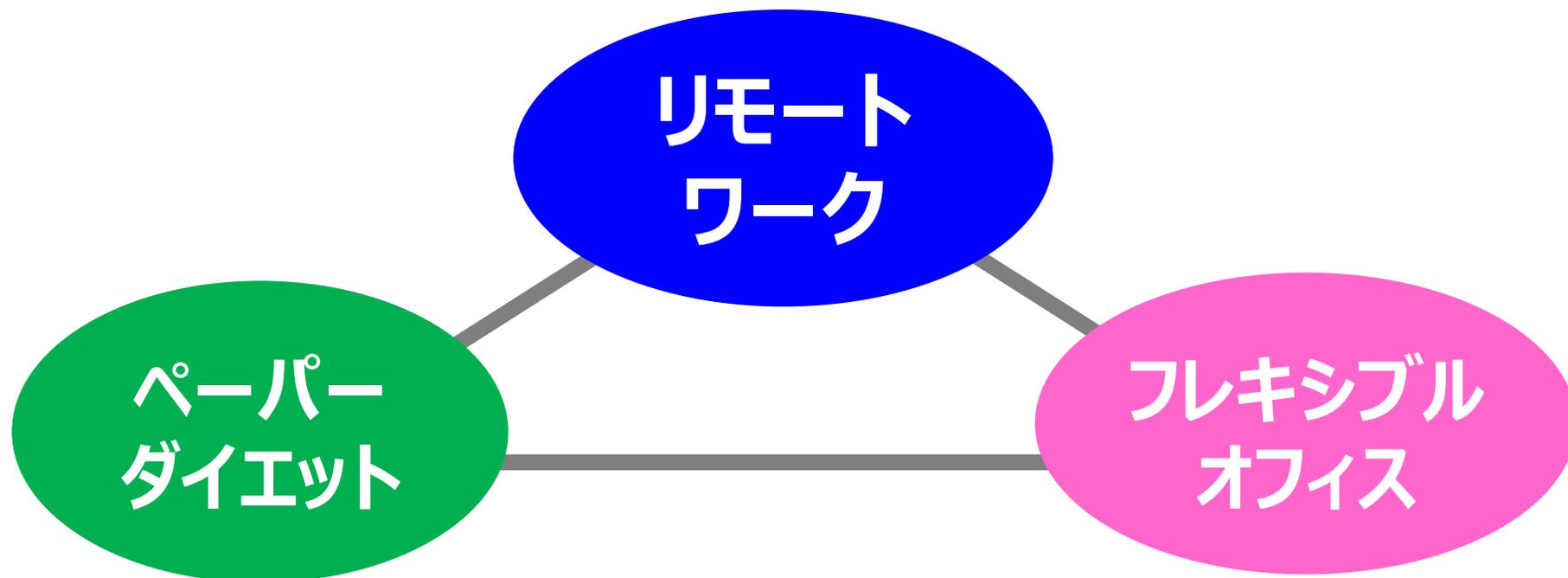
- ・ （通勤時間等の低減によって、）付加価値の高いアウトプットのためのインプット時間を創出できる
- ・ 業務の可視化や見直しの機会とすることで、業務のプロセス改善や生産性の向上に繋げることができる

## 4. 「どこでもWORK」の概要

「場所にとらわれない柔軟な働き方」を目指し、3つの施策を三位一体で推進

### 自席を前提としない働き方

- 月に2～3回程度の在宅/サテライト勤務
- ICTをフル活用し、リモート環境でも自席と同様に働く



### 紙を前提としない働き方

- 印刷 (▲50%) と保管量 (▲50%) の削減
- ペーパーレス会議の推進と定着化

### 生産的・効率的なオフィス

- 多様な働き方スペースの新設
- フレックスアドレスと個人ロッカーの導入

# 【参考】「どこでもWORK」展開スケジュール



## 5. 施策①：リモートワーク（制度概要）

### 対象者

#### 年齢や役職、理由を問わず、原則「全社員」が実施可能

- ・業務を自律的・自主的に遂行し、会社勤務と同等のパフォーマンスが発揮できること
- ・自宅で業務に集中できる環境を整備できること

### 就業形態

#### 原則 8 回 / 月を限度

（妊娠中、育児、介護等の場合は別途申請で限度なし）

#### 就業場所は 自宅・実家（一親等以内） / サテライト

#### 会社と同様の勤務時間制

（フレックス、裁量労働、短時間勤務 等）

（7 時間30分/日までは分断勤務可能）

#### 裁量労働 / フレックス（5時～22時 / コアタイムなし）

#### 深夜勤務・休日勤務は原則禁止、時間外勤務は非推奨

### 申請方法

#### 勤怠管理システムによる事前申請（8回以下は人事の承認は不要）

#### 直属上司による事前承認

### インフラ / ツール

#### 情報セキュリティポリシー順守

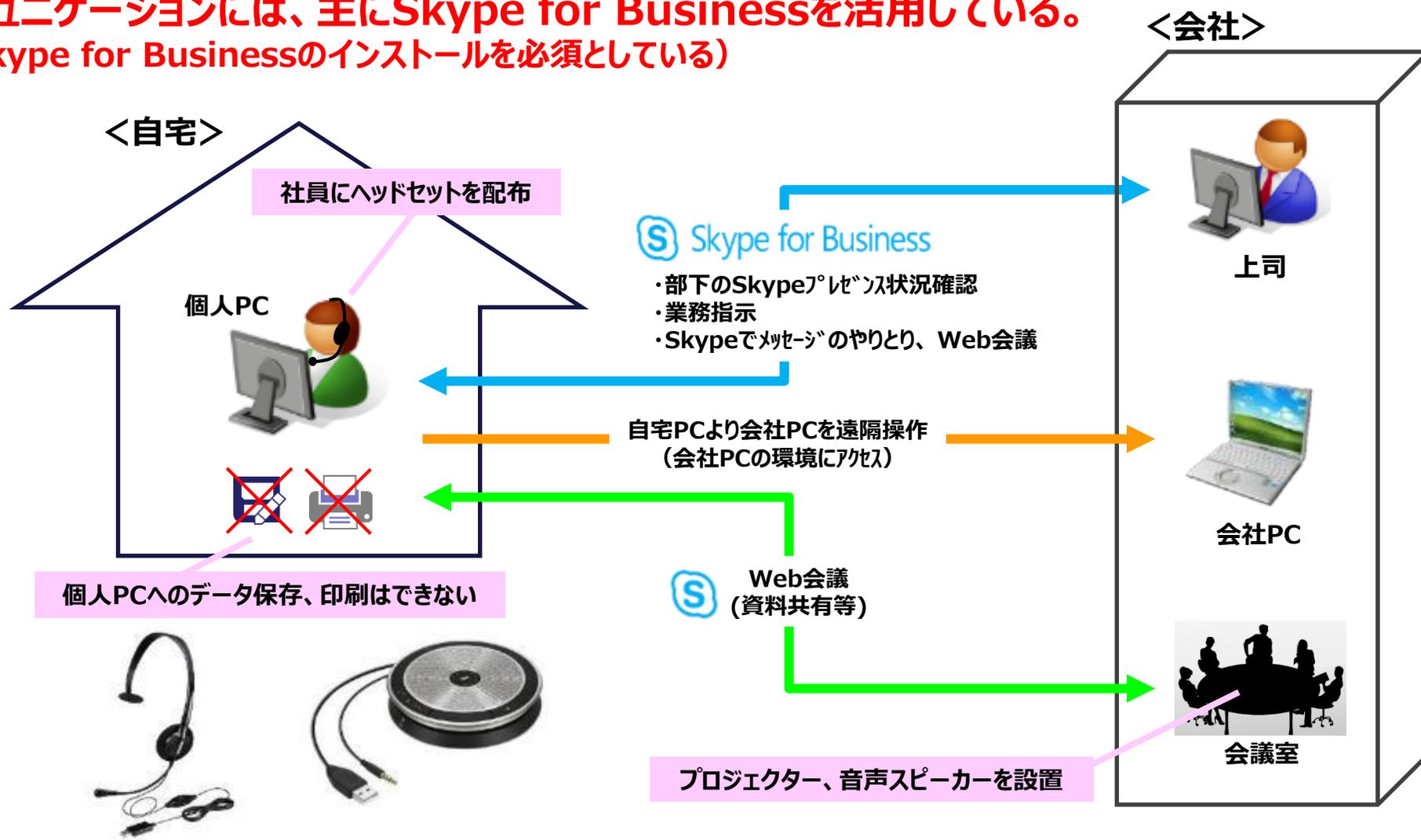
リモートデスクトップ接続、Remote App接続

VPN/ワンタイムパスワード

Skype for Business（旧Lync） コミュニケーションおよびプレゼンス確認ツール

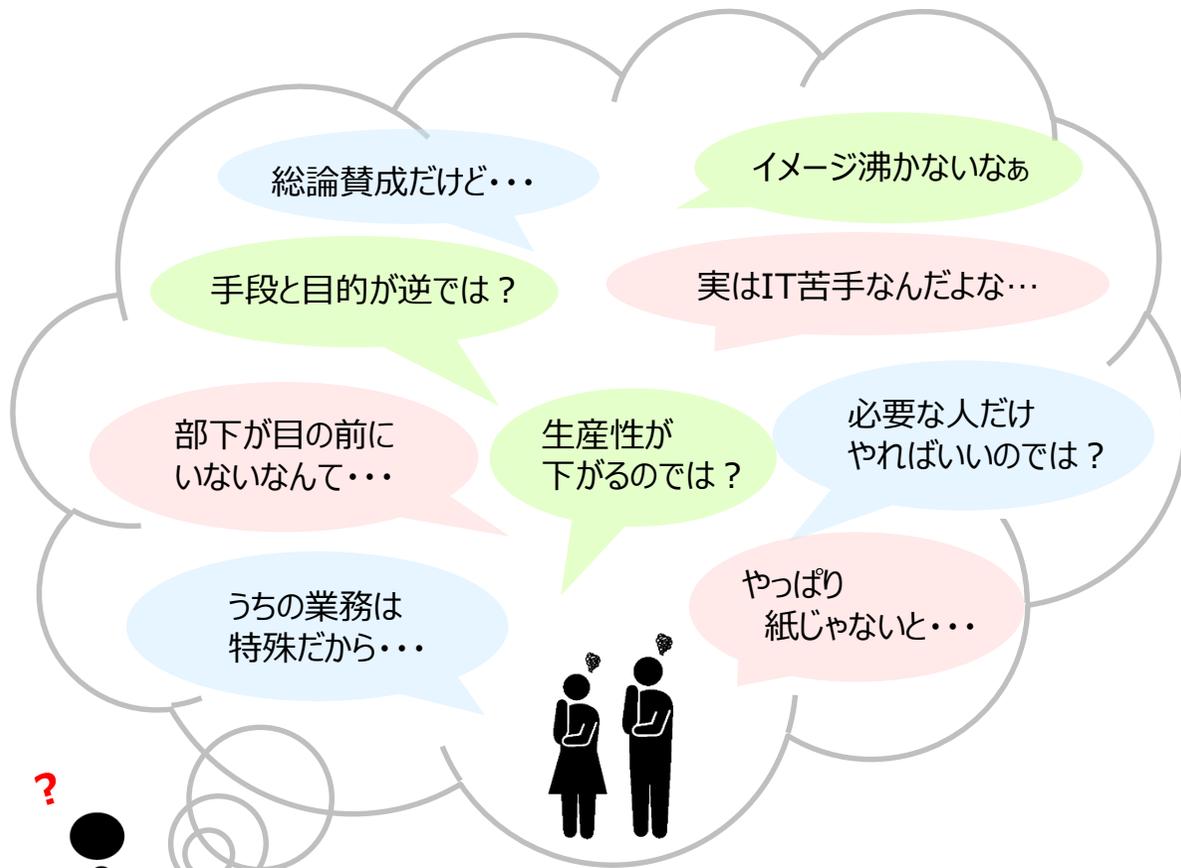
## 6. 施策①：リモートワーク（実施イメージ）

個人PCから会社PCを遠隔操作することで、オフィスと同じPC環境で業務遂行が可能。  
コミュニケーションには、主にSkype for Businessを活用している。  
(Skype for Businessのインストールを必須としている)

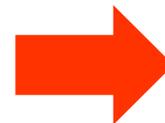


# 7. どこでもWORKの一步を踏み出してもらうために

「あれこれ考える」前に、「まずは一步踏み出して」もらうためにはどうするか？



どうやったら、取り組んでくれるだろうか？  
できない理由はなんだろうか？



色々やってみよう！

**段階的に展開**

説明会	推進体制
ガイドブック	先行事例の紹介
広報誌	データ活用
メッセージ	アンケート
制度の改定	ITマニュアル
	手当

## 8. 説明会とガイドブックの作成

2015年10月より導入部署を段階的に拡大。それに合わせて都度説明会を開催し、計55回、Skypeでの出席も含めて、約3,500名の社員が参加。

どこでもWORK推進委員会 事務局  
(業務改革推進室)

役員・社員 各位

**【通知】どこでもWORK説明会開催のお知らせ**

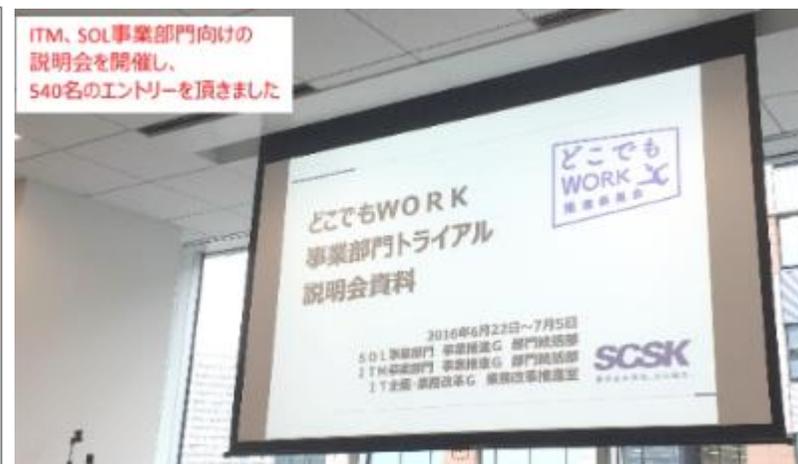
4月20日発信の【通知】どこでもWORK全社展開に向けて【】にてお知らせの通り、今期はどこでもWORKの全社展開を予定しています。これにあたって、どこでもWORKの施策とITに関する説明会を開催いたしますので、ご参加の程宜しくお願いたします。

配

**1. 目的**  
(1) どこでもWORKの施策についての理解を深める  
(2) 特にリモートワークに必要なITやマナーについて、基本的な知識を身に付ける

**2. 対象者**  
今年度より新たにリモートワークを実施する予定の役職員

**大阪・中部・九州の拠点も  
Skypeで接続**



リモートワーク実施者と上司の双方が知っておくべき情報をガイドブックとしてまとめ、社内に公開

### リモートワーク ガイドブック (制度・手続き・セキュリティ編)

2017年2月 第一版

#### 制度

1. リモートワークを推進する背景と目的
2. 当社の目指すべき働き方
3. 当社におけるリモートワークとは
4. リモートワーク制度について

#### 手続き

5. リモートワークの各種手続きについて

#### セキュリティ

6. リモートワーク時のセキュリティ上の留意点
7. リモートワークに関する事前チェック
8. リモートワークに関する社内規則類(一覧)
9. 参考資料

#### FAQ

10. F A Q

# 9. どこでもWORK専用ホームページの開設

「できない理由を取り除く」ために説明会資料や動画マニュアル、経営層のメッセージや、FAQなどを掲載

どこでもWORK  
推進委員会

働く日を変える日  
TELEWORKDAY  
【テレワークデー】2017.7.24-25  
7/24 東京都庁ではこちらより参加可能！

サテライト  
オフィスへの  
予約はこちら

TELEWORKDAY AFTER PARTY  
Web版はこちらをクリック！

NEWS

- 2017年12月1日  
12/4～開催サテライト情報について  
【勤務フロント12F 専用（S1202階） 対面】に建設・働きます
- 2017年10月31日  
「どこでもWORKER Vol.3」公開
- 2017年8月30日NEW  
・Electronicヘルプデスク導入について 変更  
・「リモートワーク定着手段」 資料掲載

どこでもWORK

- ・ [メニュー](#)
- ・ [どこでもWORK推進委員会について](#)

■ 全社展開説明会

- ・ [説明会について](#)
- ・ [どこでもWORK 仕様書](#)
- ・ [どこでもWORKER](#)

■ リモートワーク

会社PCに接続出来ない...

- ・ [「かくしんくんの1日」](#)
- ・ [「かくしんくん、RemoteAgentバージョンアップ」](#)
- ・ [「リモートワーク定着手段」資料掲載](#)

■ パーバーダイエツト

- ・ [一斉就業キャンペーン](#)

■ フレキシブルオフィス

- ・ [「会社フロント」は予約](#)

お問い合わせ先

■ 就業全般に関するお問い合わせ  
どこでもWORK推進委員会事務局

■ マニュアル類は、**ライブラリ**こちらに掲載しています

■ FAQ よくある質問

どこでもWORK 委員会メッセージ

どこでもWORK推進委員会 委員長 情報システム・業務改善グループ 分掌役員

私たちがどこでも「夢ある未来、共に創る」の経営理念の中で「働きやすい、やりがいのある会社」を目指して、従業員が働きやすい会社を目指してきています。その過程からはじめて、1年ほどSCSKの取り組みを推進し、結果としてどこでもWORKというオフィス内から働き始めることになりました。この取り組みの目的は、働きやすい会社を目指して、オフィス外でも働きやすい環境を実現することです。その実現には、働きやすい環境を整えることが必要です。

どこでもWORK 推進委員会

リモートWORKの始め方  
-かくしんくんの1日を追う-

「改革は自らの行動から」  
かくしん さん / 入社12年目

の道、子供の教育環境と成長を考慮しがある。ほど。

僕の、私の、リモート生活。  
WORKERの1日を紹介中

<p>■ <b>リモートワーク</b></p> <p>リモートワーク開始マニュアル</p>	<p>■ <b>SCSKリモートワーク</b></p> <p>SCSKリモートワーク</p>
<p>■ <b>Skype for Business</b></p> <p>Skype for Business(旧称Lync)</p>	<p>■ <b>Surface</b></p> <p>Surface</p>
<p>■ <b>電子ホワイトボード</b></p> <p>電子ホワイトボード (IWB)</p>	<p>■ <b>個別</b></p> <p>個別</p>

どこでもWORK

リモートワークFAQ

2017年9月

SCSK

ガイド・マニュアル・FAQ

各種資料へのリンクをまとめました。

1. 運用ルール編
2. IT編 (リモートアクセス、Skype for Business)
3. サテライトオフィス利用方法・予約

動画で学ぶ！どこでもWORK

どこでもWORKに関する動画の一覧です。PC設定を動画でご案内したり、ツールの便利な使い方を紹介したりと、どこでもWORKに役立つコンテンツを掲載しています。※動画マニュアルは字幕で音声は入りません

All Lync(Skype for Business) リモートアクセス 自宅PC設定  
オフィスPC設定

2.1 自宅PCから会社のPCへの接続設定を行う (1分31秒)	2.2 会社のPCで「リモートデスクトップ」機能で接続します(1分1秒)
----------------------------------	--------------------------------------

# 10. 社内広報誌「どこでもWORKER」の発行

「一歩踏み出せるように背中を押す」ために、先行実施部門のインタビュー記事や便利なTIPS、他社事例の紹介などを掲載

第1号 2016年12月発行



- ・ITリテラシー向上
- ・トライアルの様子

第2号 2017年4月発行



- ・マネジメント
- ・他社事例
- ・オフィスの様子

第3号 2017年10月発行

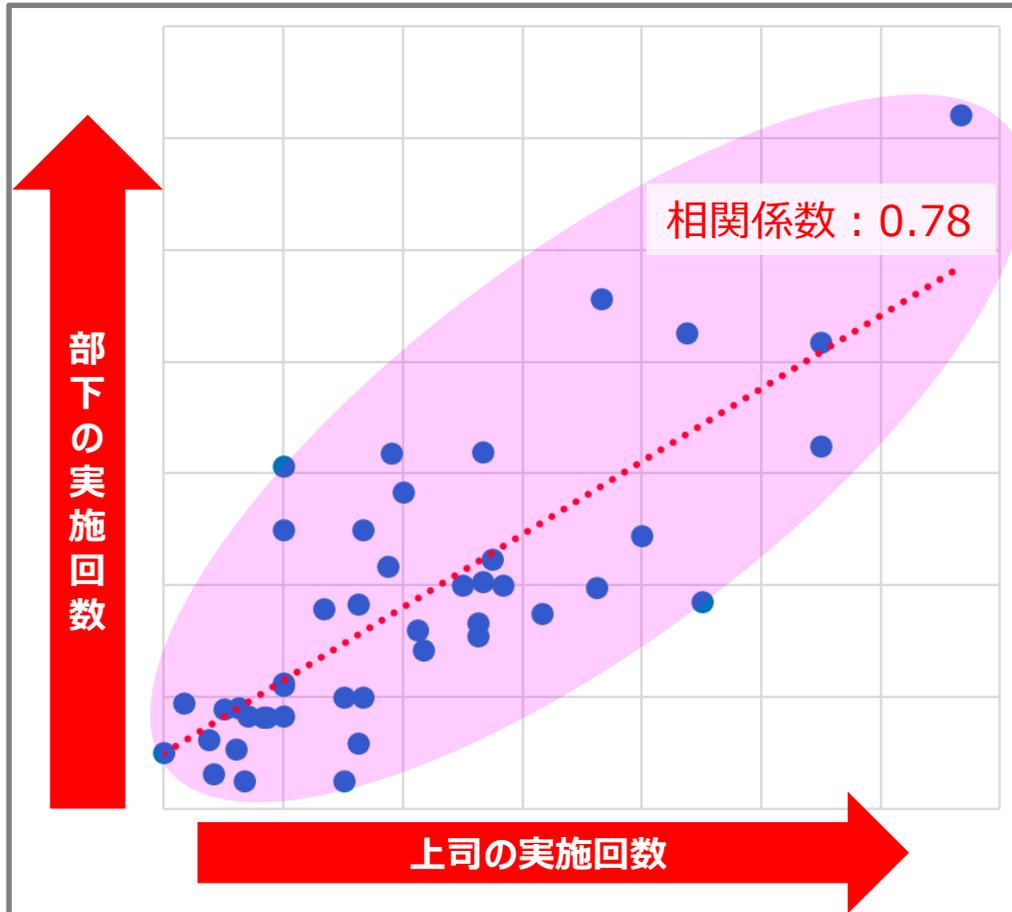


- ・基本／マナー
- ・組織的取組事例



# 11. リモートワーク定着手当の試行

「リモートワーク定着手当」（水道光熱費見合いの手当）を支給するとともに、  
上司の率先垂範を促す「組織チャレンジ」の仕組みも取り入れ、早期の立ち上げを図った



## 定着手当

実施回数に応じて、水道光熱費見合いの  
手当を支給

1～2回/月実施：1,000円/月  
3回以上/月実施：2,000円/月

## 組織チャレンジ

先行実施部門において、上司と部下の  
実施回数に高い相関関係が認められた

組織への定着のためには「上司の率先垂範」が  
重要と考え、管理職の実施回数に応じて手当を  
増額支給する「組織チャレンジ」も導入

# 12-①. 2017年 テレワーク・デイへのチャレンジ

7月24日のテレワーク・デイに、在宅・サテライトで1,722名が参加。Skypeの品質向上などの課題解決へつなげる。



空席が目立つ豊洲本社（午前11時）



満席の多摩サテライト・オフィス（午前11時）



豊洲本社で在宅勤務者とWeb会議

所在地（市区町村）	東京都江東区	実施結果
従業員人数	5000～9999人 (7,587人[2017年4月1日現在])	○消費電力 通常20,054kW→当日16,450kW（▲3,604kW）
実施人数	<b>1,722人</b> (うち午前360人、午後60人、終日1,302人)  <アンケート結果：回答者数1,527人> ・業務に影響がなかったと回答した割合：67% ・会社としてテレワークを推奨する日を定期的に設けた方が良いと回答した割合：53%	○公共交通機関の利用 豊洲駅利用者数 通常3,280人→当日2,106人（▲1,174人）  ○購買行動の変化 増えた人数（金額）：233人（増加総額：365,080円） 減った人数（金額）：569人（減少総額：395,406円）
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>自宅、実家</b>（配偶者、子、父母または義父母のいずれかが入居する住宅）</li> <li>・ <b>自社専用のサテライトオフィス</b></li> </ul>	○その他の評価指標（今回のテレワーク実施者の経験回数）
実施概要	午前、午後、終日のいずれかでテレワークを実施する	 <p>初めて 29% 2~4回 27% 5回以上 44%</p> <p>テレワーク・デイがきっかけで、初めてテレワークを実施した社員は29%に上り、社内でのテレワーク利用者の裾野を広げることができた。 ※アンケートで「当日テレワークを実施した」と回答した1,445人の内訳</p>

# 12-②. 2018年 テレワーク・デイズへの参加

7月24日の週、テレワーク・デイズに、3,267名が延べ5,905回実施。



空席が目立つ豊洲本社



多摩サテライトオフィスの様子



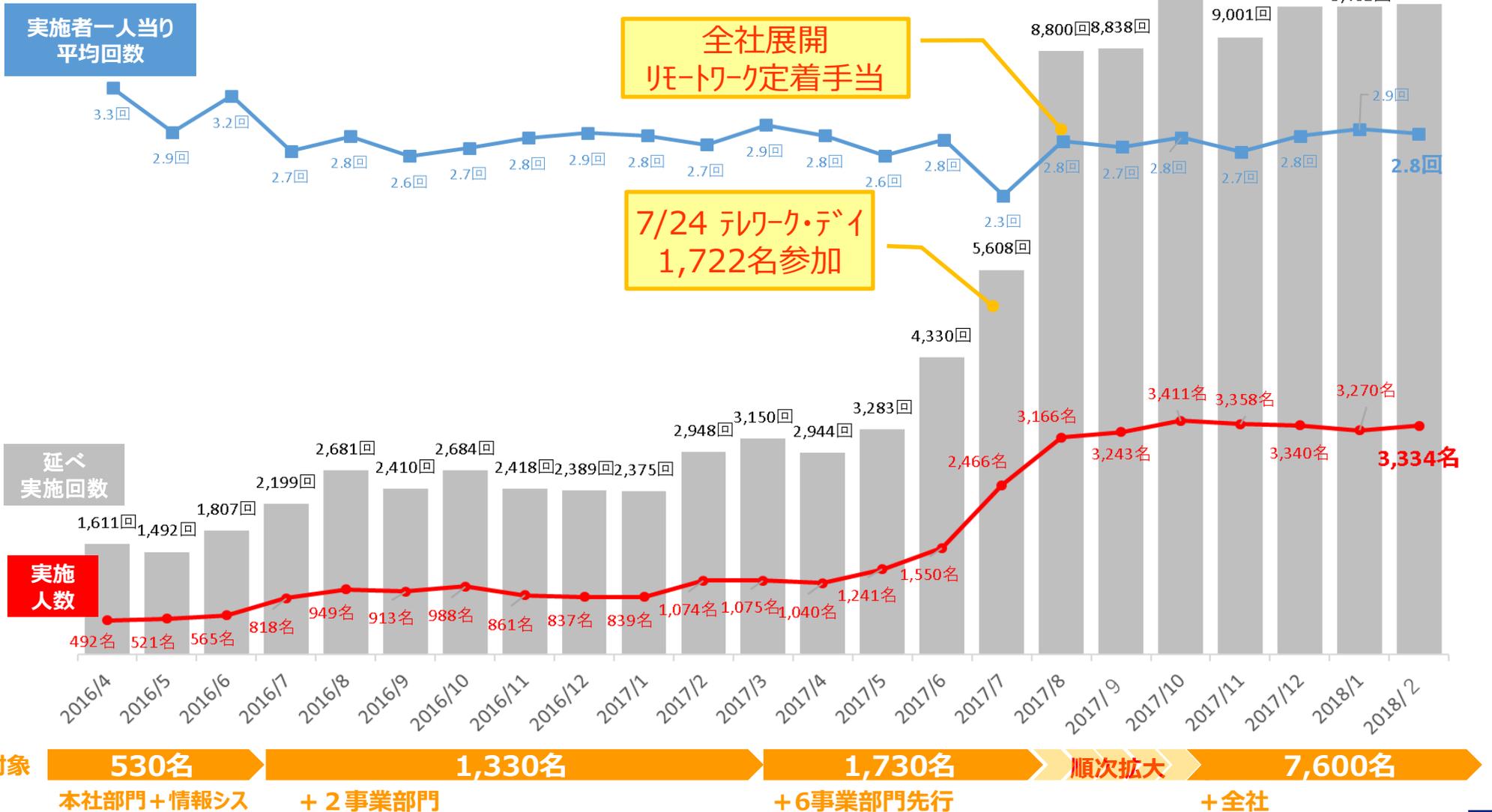
Web会議に参加する在宅勤務者

本社所在地	東京都江東区
従業員人数	7,622人[2018年4月1日現在]
実施人数	<p><b>・3,267人が延べ5,905回実施</b></p> <p>・コア日の7月24日には、2,165人が実施</p>
実施エリア	東京都、愛知県、大阪府、福岡県
実施形態	<p>・<b>自宅</b>または<b>実家</b>（配偶者、子、父母または義父母のいずれかが入居する住居）での在宅勤務</p> <p>・<b>サテライトオフィス</b>勤務</p>
実施概要	<p>・7月24日を中心に原則2日以上テレワークを実施</p> <p>・終日、午前、午後のいずれかで実施</p> <p>・対象者は、役員を含めた全役職員</p>

実施結果	※通常：7月17日、当日：7月24日
○消費電力量の変化	通常32,384kWh→当日28,889kWh（▲3,495kWh）
○事務用紙等の消費量の変化	通常93,730枚→当日60,656枚（▲33,074枚）
○労働時間の変化	<p>残業時間 通常1,864時間→当日1,040時間（▲824時間）</p> <p>短縮時間 通常▲552時間→当日▲1,146時間（▲593時間）</p> <p>※短縮時間：裁量労働制・フレックスタイム制の活用により、時差出勤・退勤等で所定就業時間を短縮した総時間</p>
○その他の評価指標	<p>・テレワークの一斉実施により「悪い影響があった」と回答した社員は10%に留まり、ほとんどの社員が普段どおり勤務できたと言える。</p>

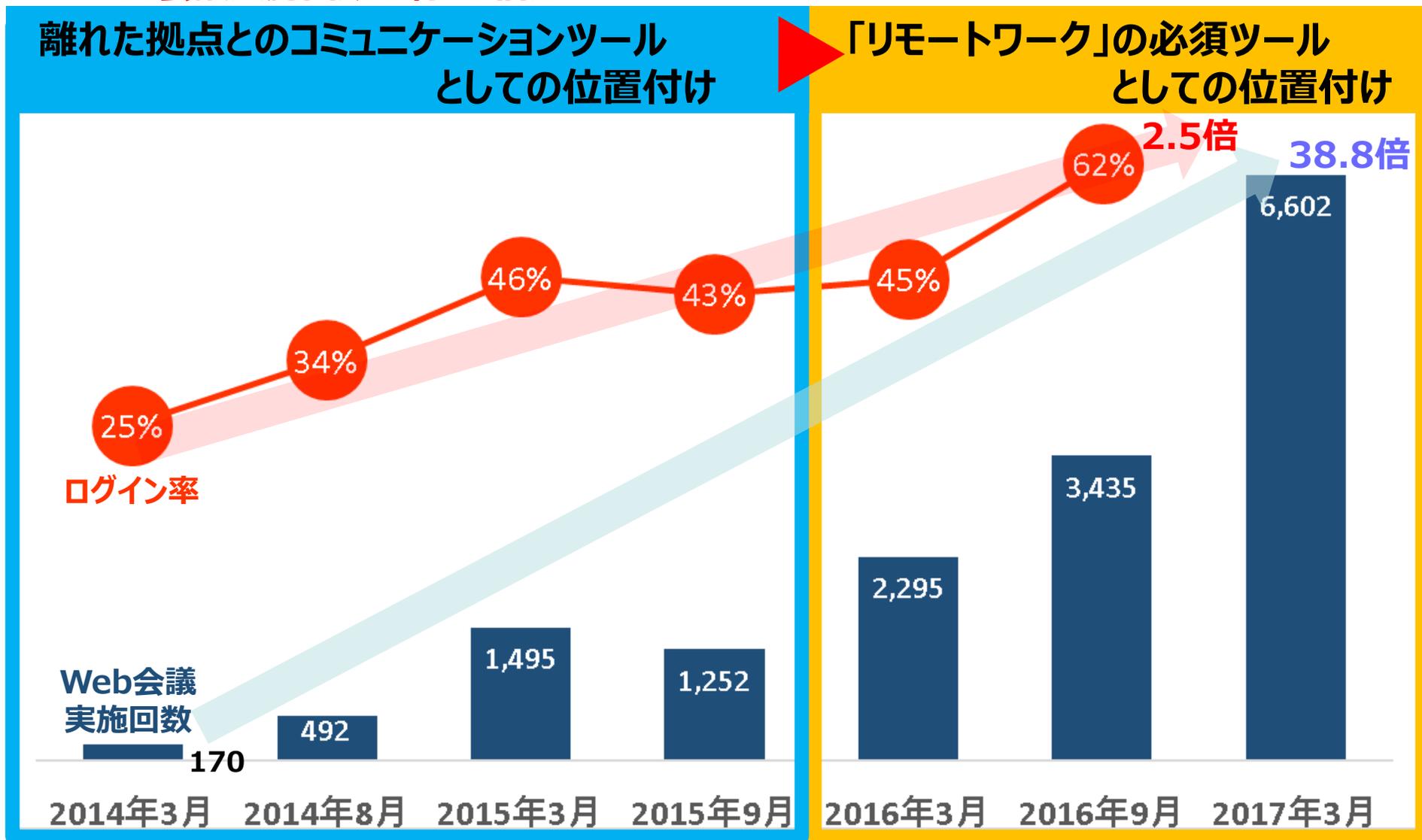
# 13. リモートワーク実施状況

2015年10月より、順次重点的に取り組む部署を拡大し、2017年8月から全社展開へ。  
直近では、毎月約3,000名が平均3回程度のリモートワークに取り組む。



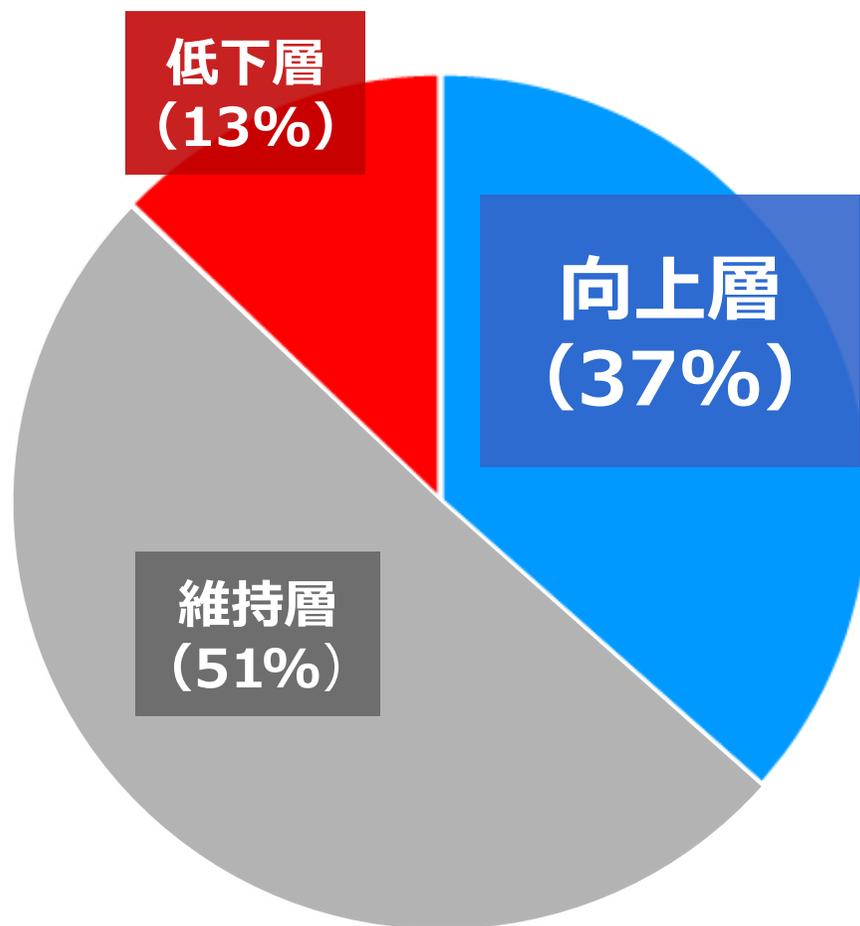
# 14. Skype for Businessの利用状況

「リモートワーク」の必須ツールと位置付けて、Skype for Businessの利用を推進した結果、Web会議実施回数が約40倍に



## 15. 施策①：リモートワーク（アンケート：WORK）

### 【 リモートワークによる「仕事の生産性」の変化（WORK面）について 】



#### 集中

- ・満員電車による心身の負担がなく、仕事に集中できる。

#### 段取り・計画性

- ・会社でなければできない仕事とそうでない仕事を切り分ける。ことでメリハリが付いて、業務効率が上がった。

#### アウトプット意識

- ・定時に決めた作業をやりきるという取り組み方が、いつもより明確になった。普段もそうあるべき、と反省した。

#### コミュニケーション向上

- ・「ふわっ」とした依頼や指示が少なくなった。

#### 組織文化・マインドの変化

- ・在宅勤務時の「申し訳なさ」がなくなってきた。
- ・会議でリモートの参加者がいることが大前提との認識が浸透してきた。

#### コミュニケーション低下

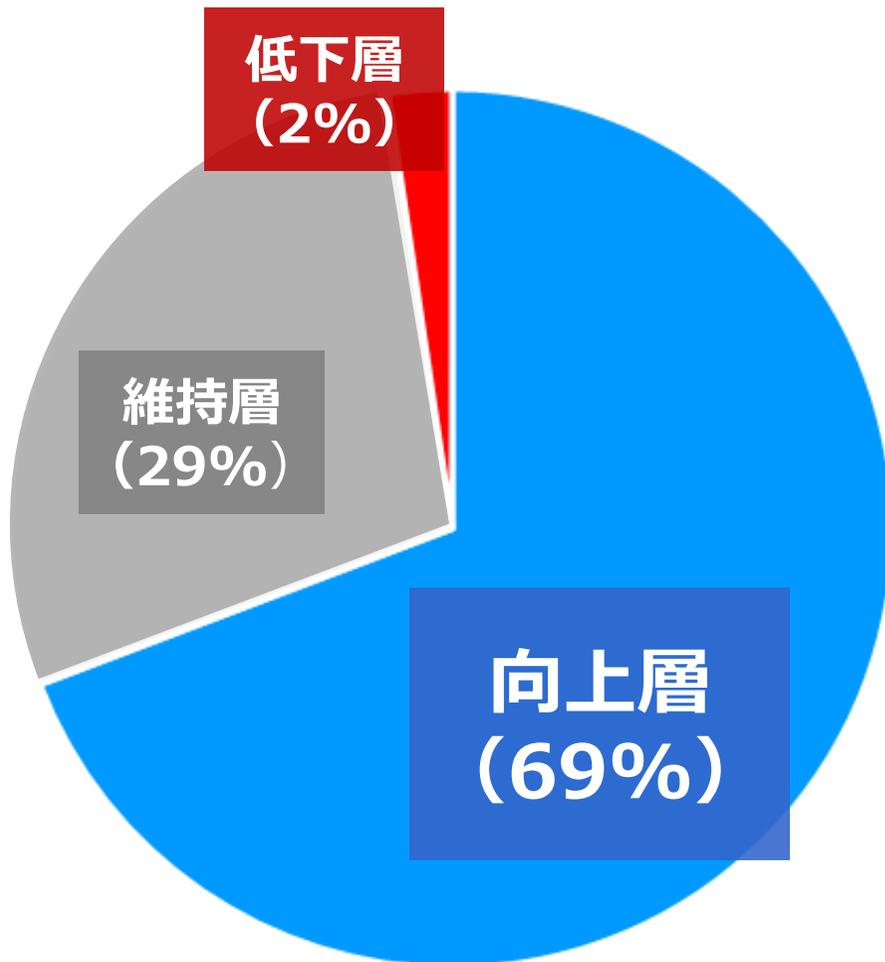
- ・オフィスに人が少なく、必要以外で顔を合わせる事がなくなった。

#### 不公平感

- ・実施したくても出来ない社員への対策が必要と考える。

# 16. 施策①：リモートワーク（アンケート：LIFE）

## 【 リモートワークによる「生活の質」の変化（LIFE面）について 】



### 人生

- ・人生が豊かになった。

### 心身の負担・ストレス減・気持ちのゆとり

- ・通勤に係る時間が無くなり心身ともにストレスが減った。
- ・多くの睡眠時間が確保でき「心にゆとり」ができた、

### 家庭・家族

- ・家族と共有する時間が増えている。
- ・家事に参加できることで、妻の機嫌が良くなった。

### 自己研鑽

- ・夕方の空いた時間を資格取得に向けた勉強に充てている。

### 育児・介護

- ・接する時間が増え、子供のストレスが減って問題を起こさなくなった。
- ・介護離職しなくて済んでおり、大変感謝している。

### 趣味・地域活動・運動

- ・朝食前にランニングをするようになったので、人間ドックの結果が楽しみ。
- ・地域行事に参加できるようになり、肩身の狭い思いをしなくなった。

### 家族の理解

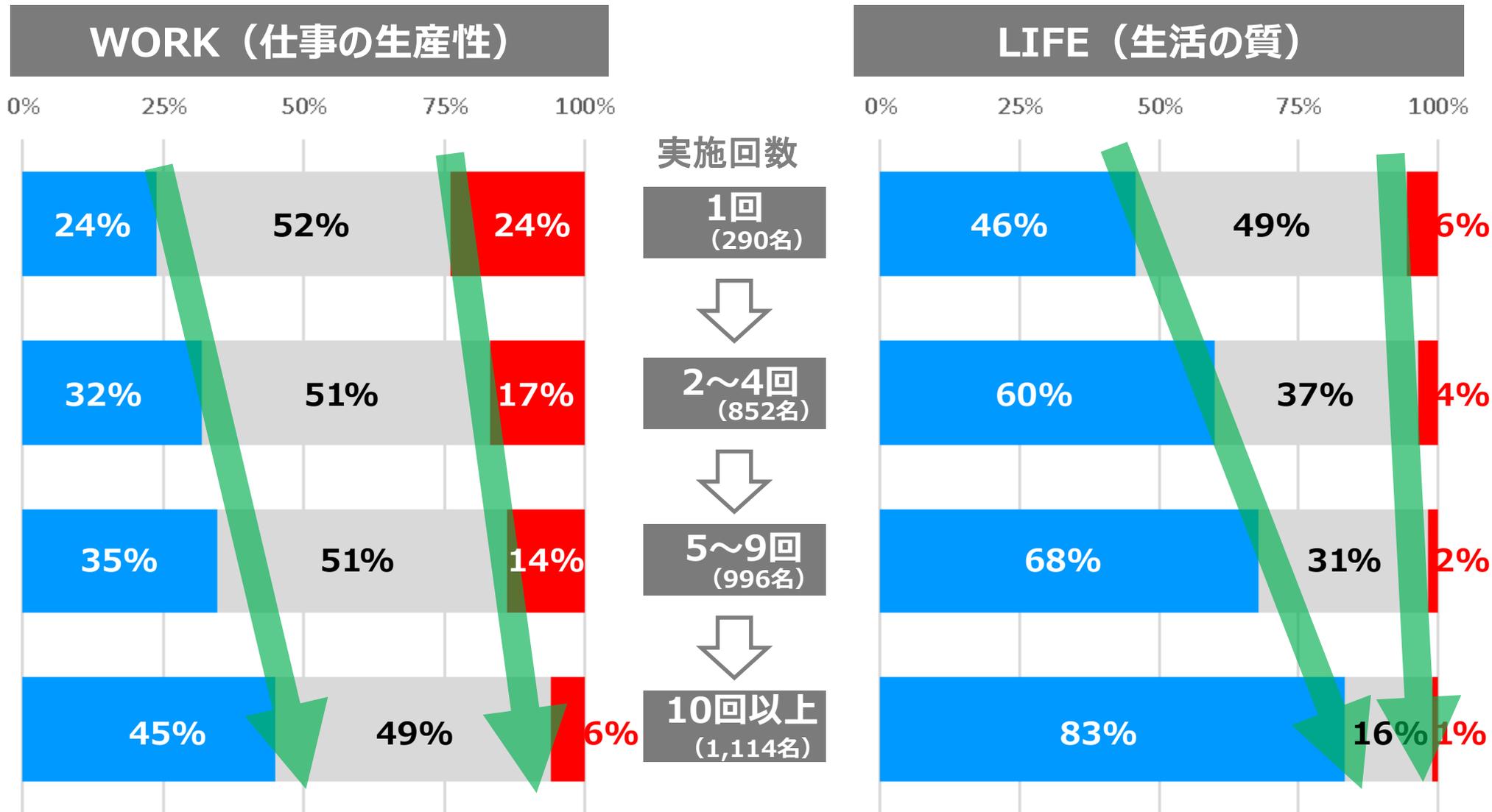
- ・リビングで仕事をしていると邪魔者扱いされる。

### 歩数の低下

- ・通勤しない分、歩かなくなった。

# 17. 施策①：リモートワーク（アンケート：回数変化）

仕事の生産性、生活の質のいずれも、実施回数を重ねるごとにポジティブな回答の割合が増加



※実施者3,282名の回答

リモートワークの推進に向け、紙を前提としない働き方へのシフトを目指す

**【3原則】 紙でもらわない、渡さない / もらっても捨てる / 捨てても怒らない**

棚卸・可視化(印刷枚数、保管書類)、削減目標・実施方法の決定、フォローアップ

## 印刷枚数 (フロー)

### ペーパーレス会議の推進

取締役会からペーパーレス化  
すべての会議室にプロジェクタ  
ノートPCへの移行

リモートワークの実践

削減目標 ▲50%

## 書類保管量 (ストック)

### 一斉廃棄キャンペーン

電子化して外部倉庫へ保管  
キャビネ削減・袖机撤去  
個人ロッカーへの移行

オフィス有効活用

削減目標 ▲50%

# 19. ペーパーダイエット 一斉廃棄の様子

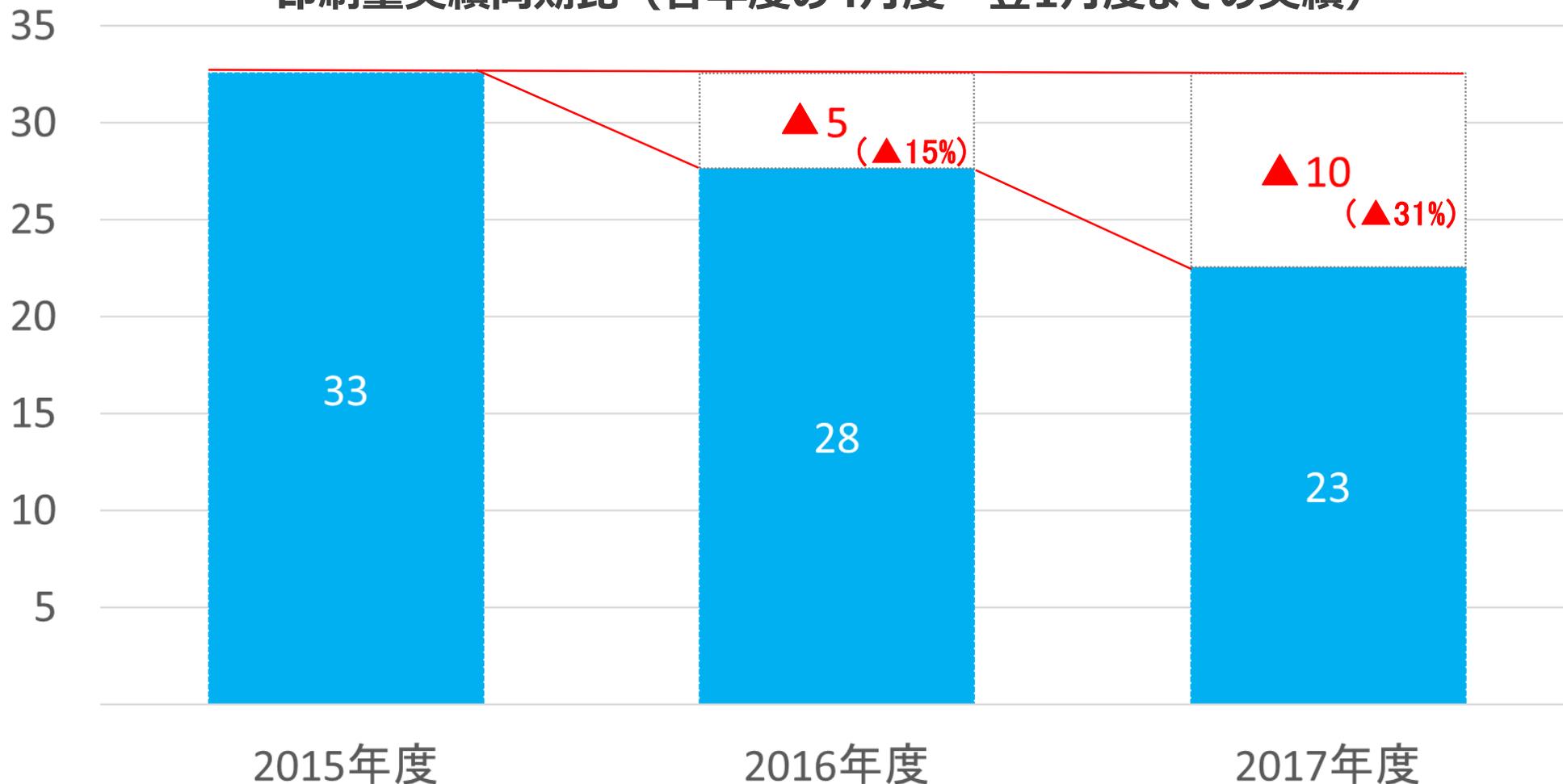
フレキシブルオフィス化にあわせて一斉廃棄キャンペーンを実施。生ごみと液体以外なら何でも回収。一緒に汗をかくことで、変革のきっかけ作り、機運の醸成。



## 20. ペーパーダイエツト 印刷量実績

全社での印刷量の削減割合は31%と、目標としている50%までは道半ばであるが、順調に削減は進んでいる。

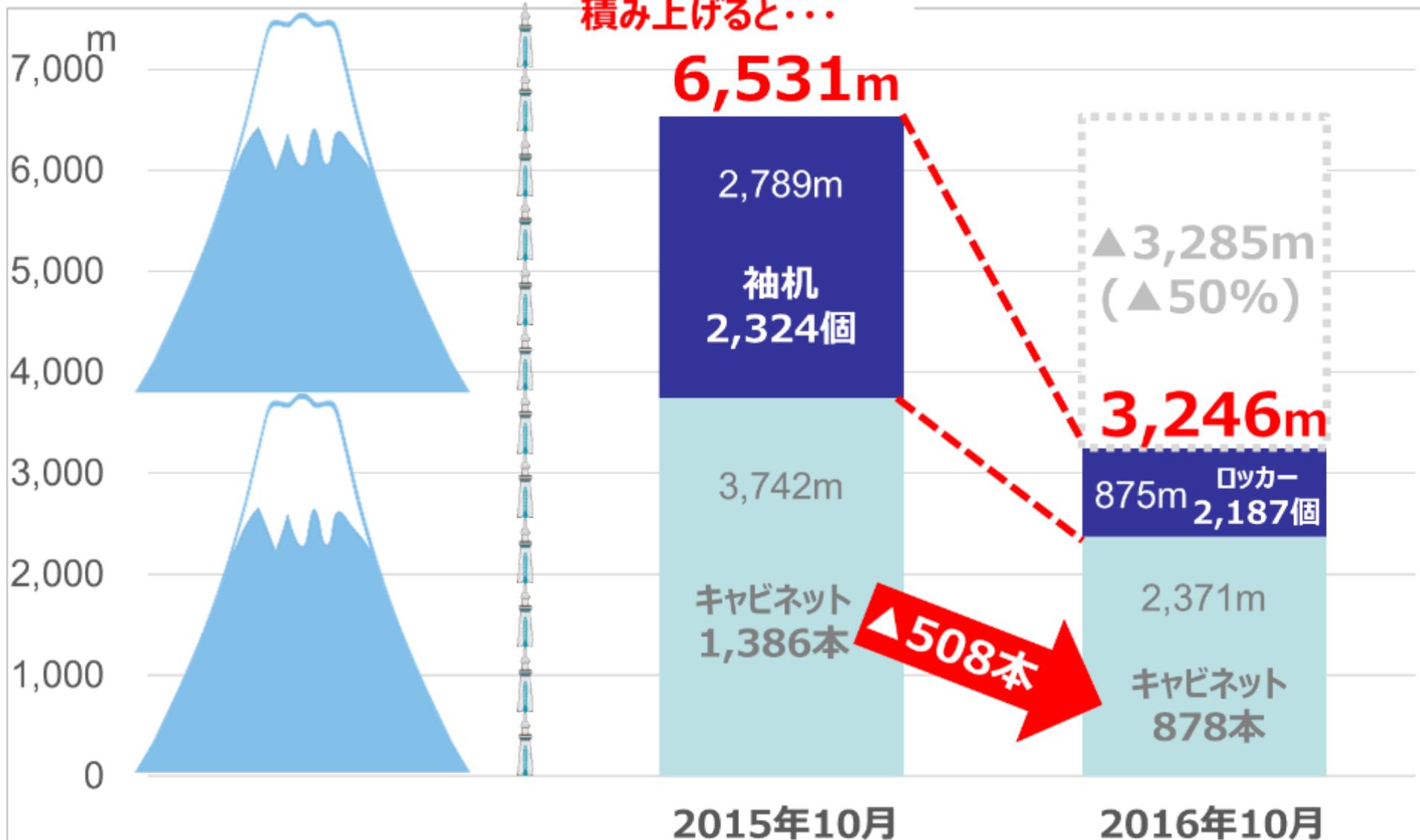
印刷量実績同期比（各年度の4月度～翌1月度までの実績）



# 21. ペーパーダイエット 保管量実績

一斉廃棄キャンペーンを伴うフレキシブルオフィス化（個人ロッカー、キャビネ削減）によって保管量は半減

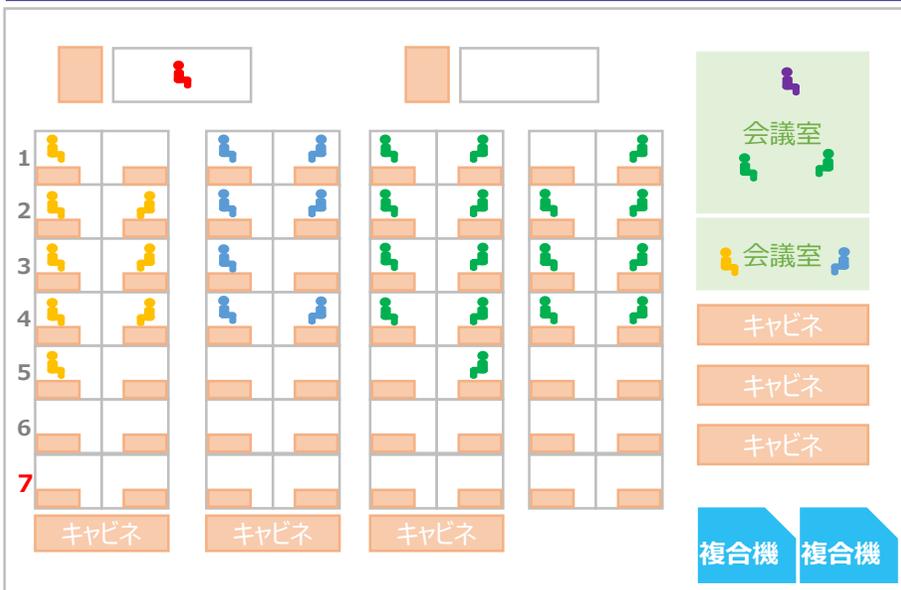
積み上げると・・・



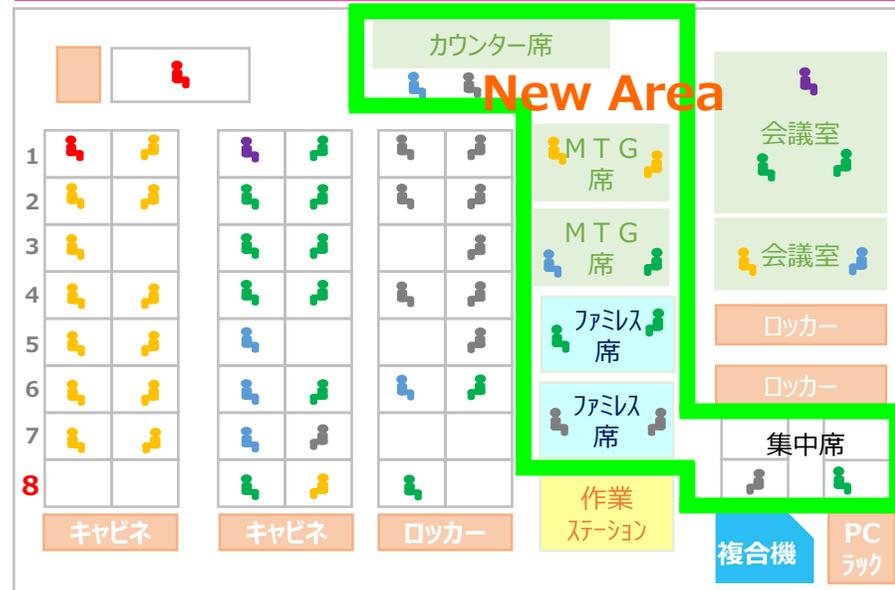
# 22. フレキシブルオフィス 施策概要

フレックスアドレスを導入し、執務スペースを効率化。  
空いたスペースにファミレス席、集中席などの多様なエリアを設置し、オフィス内での働き方も変える。

変更前レイアウト



変更後レイアウト



- ・各座席に**袖机**を設置
- ・1席あたりの幅は**140cm**
- ・すべて**固定席** / デスクトップPC
- ・**部ごとに島単位**でゾーニング
- ・会議は**会議室**を予約して実施
- ・会議では**紙**を配布
- ・ひな壇は**部長**以上

- ・袖机は撤去し、**個人ロッカー**へ移行
- ・1席あたりの幅は**120cm**
- ・原則**フレックス** / ノートPC (2席に1つモニタを設置)
- ・概ね**本部単位**でゾーニング
- ・**多様な働き方エリア**で機動的に打ち合わせ
- ・会議室に**プロジェクタとマイクスピーカー**を設置
- ・ひな壇は**副本部長**以上

オフィスは引っ越しせず、既存のオフィスでレイアウト変更を実施

# 23. フレキシブルオフィス 実施後の様子

## フレックスアドレス（座席共有、袖机撤去、個人ロッカー設置）



## 多様な働き方スペース



## サテライトオフィス (多摩センターオフィス内)



# 24. どこでもWORKによる効果の例

リモートワーク	ワークライフバランス	① 「生活の質が向上・維持」 <b>98%</b> ※2017年10月実施のアンケート結果より	② 残業時間の削減 18時間16分 (2014年度) <b>▲10%</b> → 16時間22分 (2017年度) ※全社勤怠実績より	③ 有給休暇の取得状況 15.3日 (2012年度) <b>▲3.5日</b> → 18.8日 (2017年度) ※全社勤怠実績より
	生産性・効率性	④ 「生産性が向上・維持」 <b>87%</b> ※2017年10月実施のアンケート結果より	⑤ Web会議の月間開催数 170回 (2014年3月) <b>▲39倍</b> → 6,602回 (2017年3月) ※Skype for Businessのログより	⑥ 社内出張の回数削減 649回 (2014年度下期) <b>▲24%</b> → 491回 (2016年度下期) ※基幹システムのログより
	ダイバーシティ 女性活用	⑦ 育児・介護のために リモートワークを実施した社員 16人 (2014年度) <b>▲4倍</b> → 67人 (2017年度)	⑧ リモートワークを活用して 育児時短からフルタイム勤務へ 1.6% (2014年度) <b>▲8倍</b> → 12.7% (2017年度)	⑨ 育児からの職場復帰率 <b>96.8%</b> ※2017年度実績
	ペーパー ダイエット	⑩ 印刷枚数削減 <b>▲30%</b> ※2015年4月～11月実績と2017年4月～11月実績	⑪ 紙等の保管量 <b>▲50%</b> ※先行部門実績(積み上げて6,531m→3,246m)	⑫ 寄付した書籍の数 <b>7,045冊</b> ※一斉廃棄キャンペーンを通じて東日本震災へ寄付
		フレキシブル オフィス	⑬ 執務スペースの面積 <b>▲18%</b> ※先行部門実績(1,771席から322席返却)	⑭ ファミレス席や集中席など 多様な働き方スペース <b>166席設置</b> ※先行部門実績
			⑮ サテライトオフィス <b>9ヶ所設置</b> ※関東5ヶ所、中部1ヶ所、近畿2ヶ所、九州1ヶ所	

**SCSK**

夢ある未来を、共に創る。